



# 個人投資家様向け 会社説明会

---

2023年10月11日

株式会社小田原機器（東証スタンダード 7314）  
代表取締役社長 丸山明義

## 代表取締役社長

まる やま

あき よし

**丸山 明義**

- 1959年 兵庫県生まれ
- 1981年 当社入社  
以降、営業畑を歩む
- 2013年 営業部長
- 2014年 取締役
- 2016年 常務取締役
- 2019年 代表取締役社長



1. 会社概要
2. 事業内容
3. 成長戦略
4. 資本政策

## 社是

開拓の精神で社会に奉仕する

### 「開拓の精神」

とは、つねに世の中に新しい商品・サービスを提供し、社会に貢献することである。

### 「社会に奉仕する」

とは、われわれが日々行っている社業を通して社会の向上・発展に尽くしていくことである。

## 小田原機器グループ経営ビジョン

地域社会の人びとの暮らしを支える、公共交通インフラづくりに  
DXソリューションで貢献するONLY ONE企業を目指します

|         |  |
|---------|--|
| 社名      | 株式会社小田原機器<br>(ODAWARA AUTO-MACHINE MFG.CO.,LTD.)   |
| 代表者     | 代表取締役社長 丸山明義   |
| 創業      | 1950年10月   |
| 設立      | 1979年10月   |
| 上場市場    | 東京証券取引所 スタンダード市場 (証券コード7314)   |
| 事業セグメント | <p>①運賃收受機器事業<br/>路線バス及びワンマン鉄道車両での運賃收受機器 (運賃箱、整理券発行機、カード機器及び運賃表示器等) の設計、開発、製造、販売及びメンテナンスサービス</p> <p>②システム開発事業<br/>システム開発、エンジニアリング、ソフトウェア設計並びにシステム及び機器の輸出入販売</p> |
| 子会社     | 株式会社オーバルテック<br>ソタシステム株式会社<br>株式会社アズマ   |
| 従業員数    | 連結190名 当社単体112名 (2022年12月31日現在)  |

- 交通系、社会系インフラシステム開発受託
- 親会社向けソフトウェア開発受託

**SOTA SYSTEMS**

ソタシステム 株式会社

- バス、鉄道用システム・機器の設計・製造・販売

- バス、鉄道用機器の保守

 **ODAWARA**

株式会社 小田原機器

- システム、プリント基板開発受託
- 親会社向けソフトウェア開発受託

**OVAL TECH**

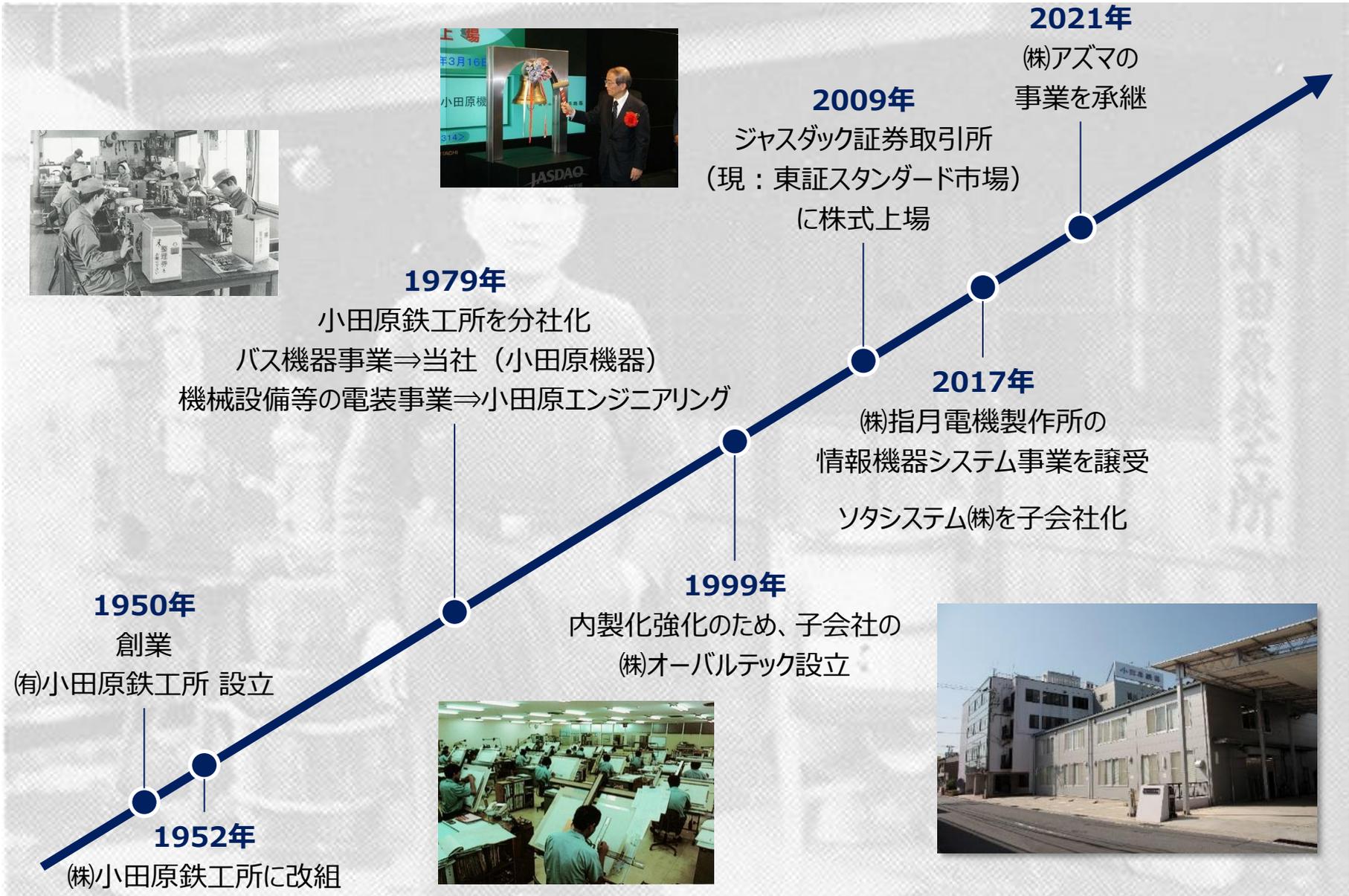
株式会社 オーバルテック

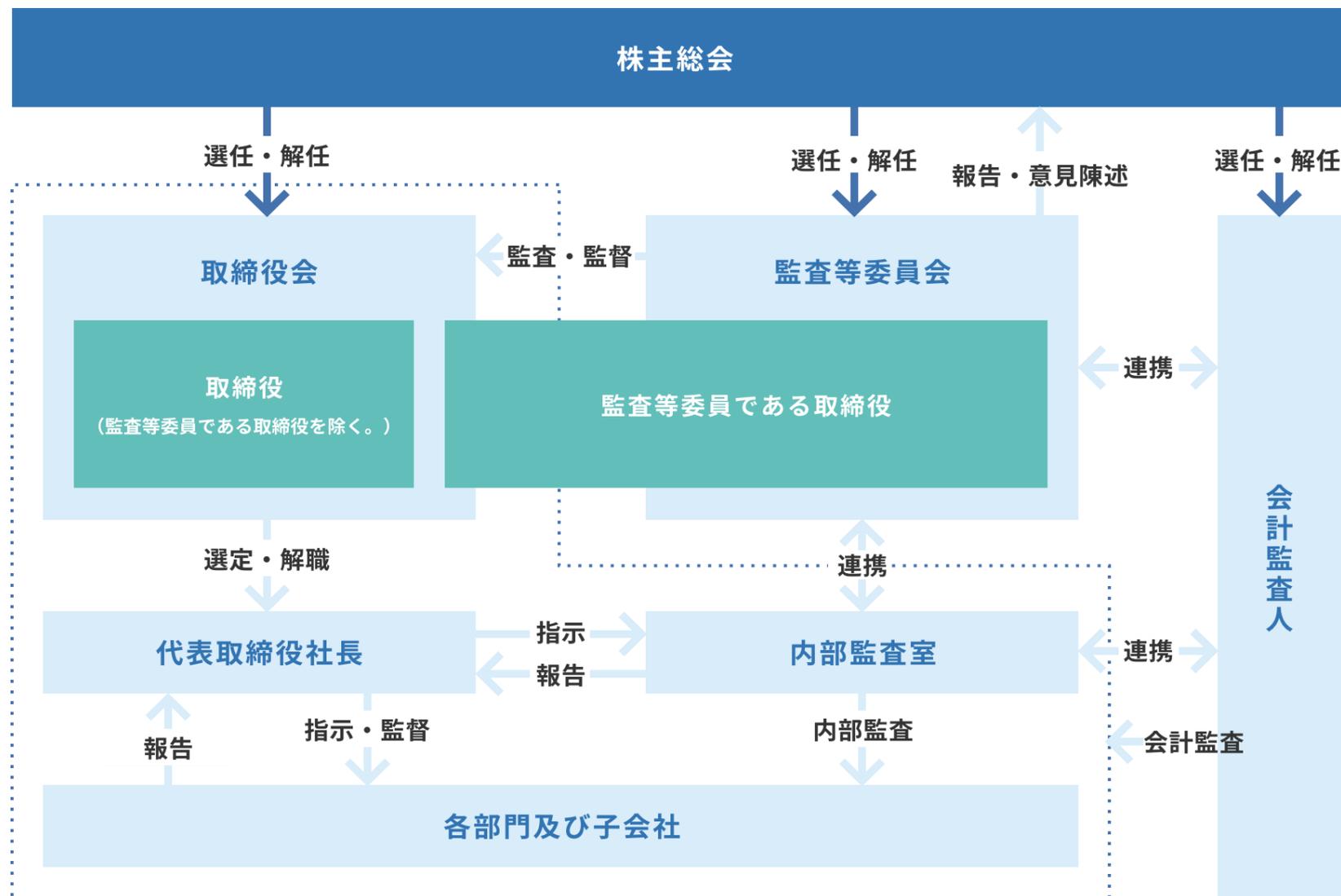
**Azuma**

株式会社 アズマ

## ▶ 日本全国のお客様に対して営業展開









取締役  
監査等委員  
平野 光利

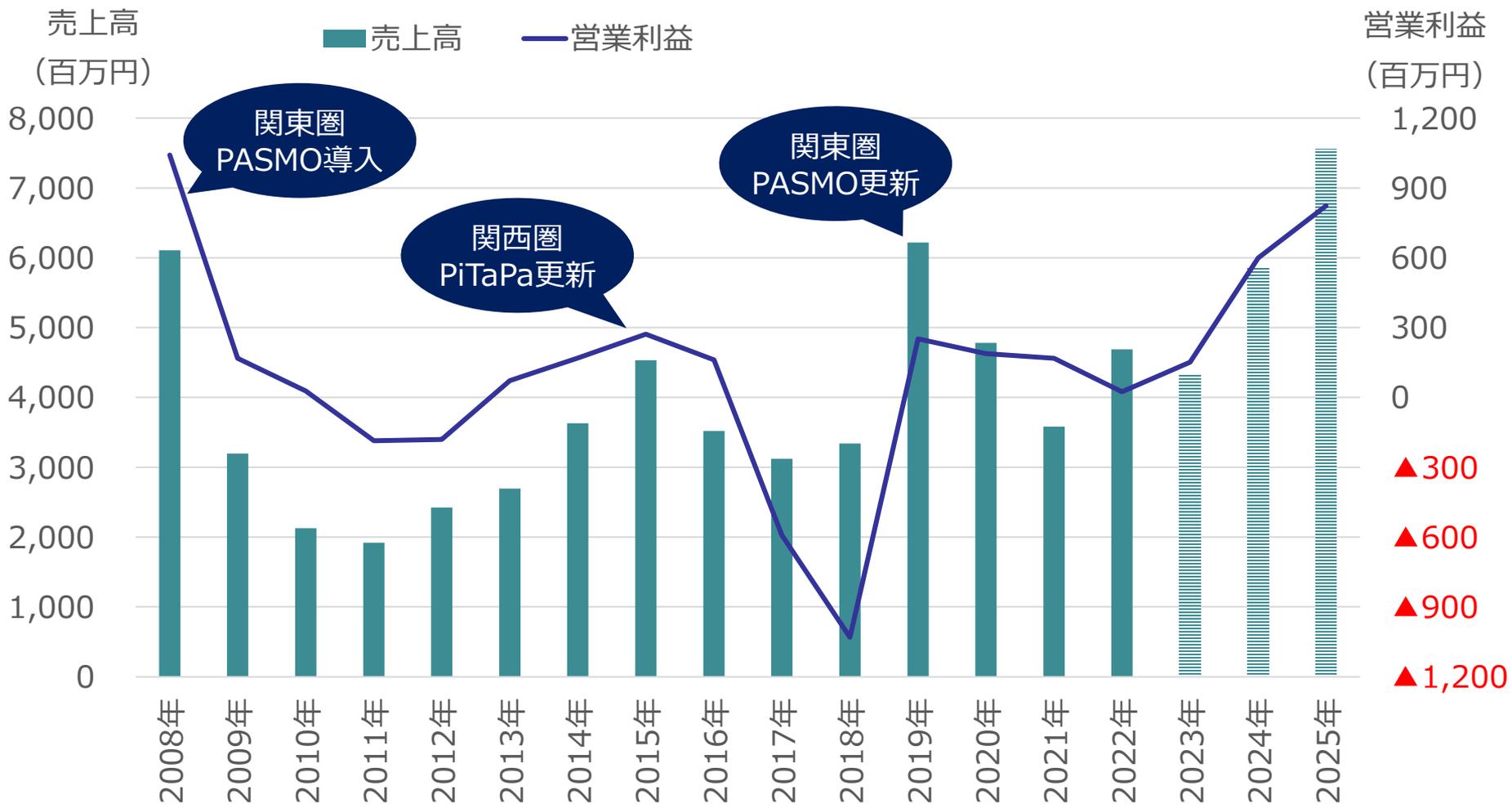
常務取締役  
佐藤 健一

代表取締役社長  
丸山 明義

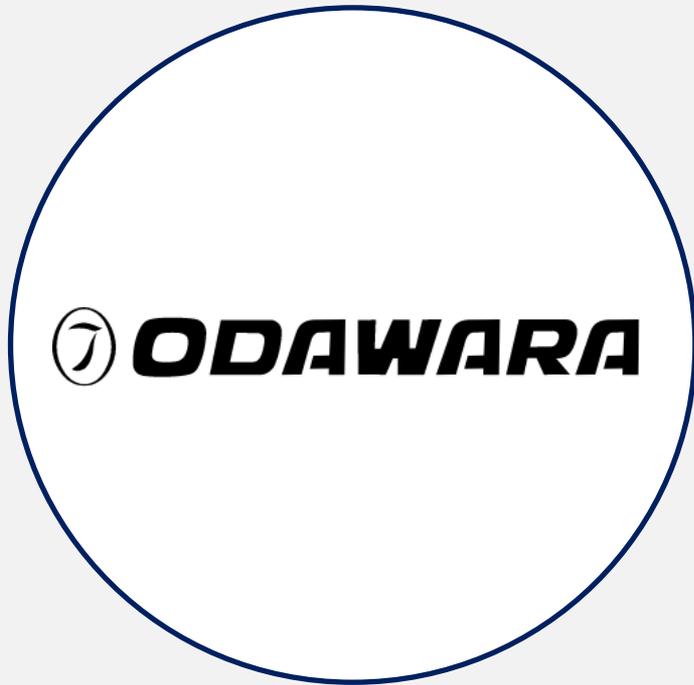
取締役  
津川 直樹

社外取締役  
監査等委員  
市川 公雄

社外取締役  
監査等委員  
熊谷 輝美



1. 会社概要
2. 事業内容
3. 成長戦略
4. 資本政策



## 運賃収受・キャッシュレス決済

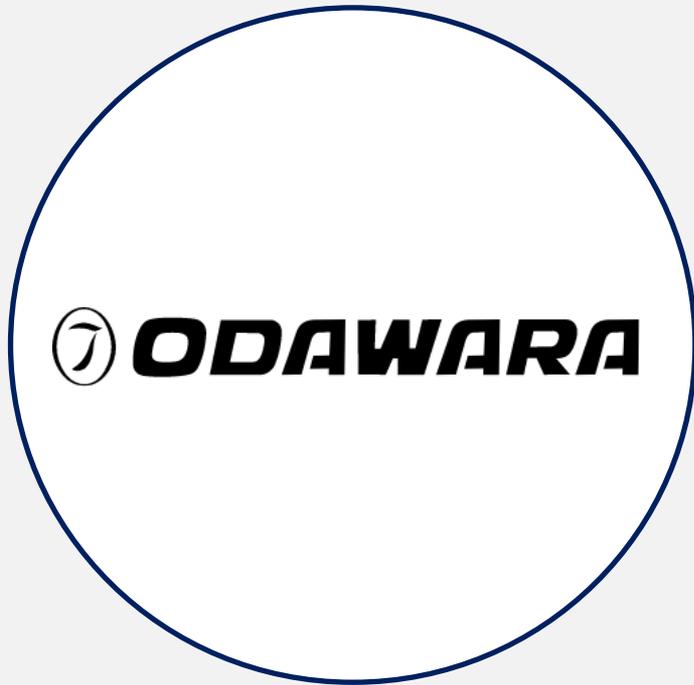


## 地域交通活性化コンサルティング



## 技術サービス





## 運賃収受・キャッシュレス決済



## 地域交通活性化コンサルティング



## 技術サービス





▶ 当社初の量産型バス用運賃箱、整理券発行機



## ▶ コンパクト化、高性能化へ

1970年台

1980年台

2010年台

現在



幅20cm

**運賃箱  
「RX-Ⅲ」**

当社初の量産型  
バス用運賃箱



幅25cm

**即時計数式運賃箱  
「FA」**

瞬時に投入硬貨と  
整理券を読み取り、  
計数が可能に



幅18cm

**自動精算スリム型運賃箱  
「FTS」**

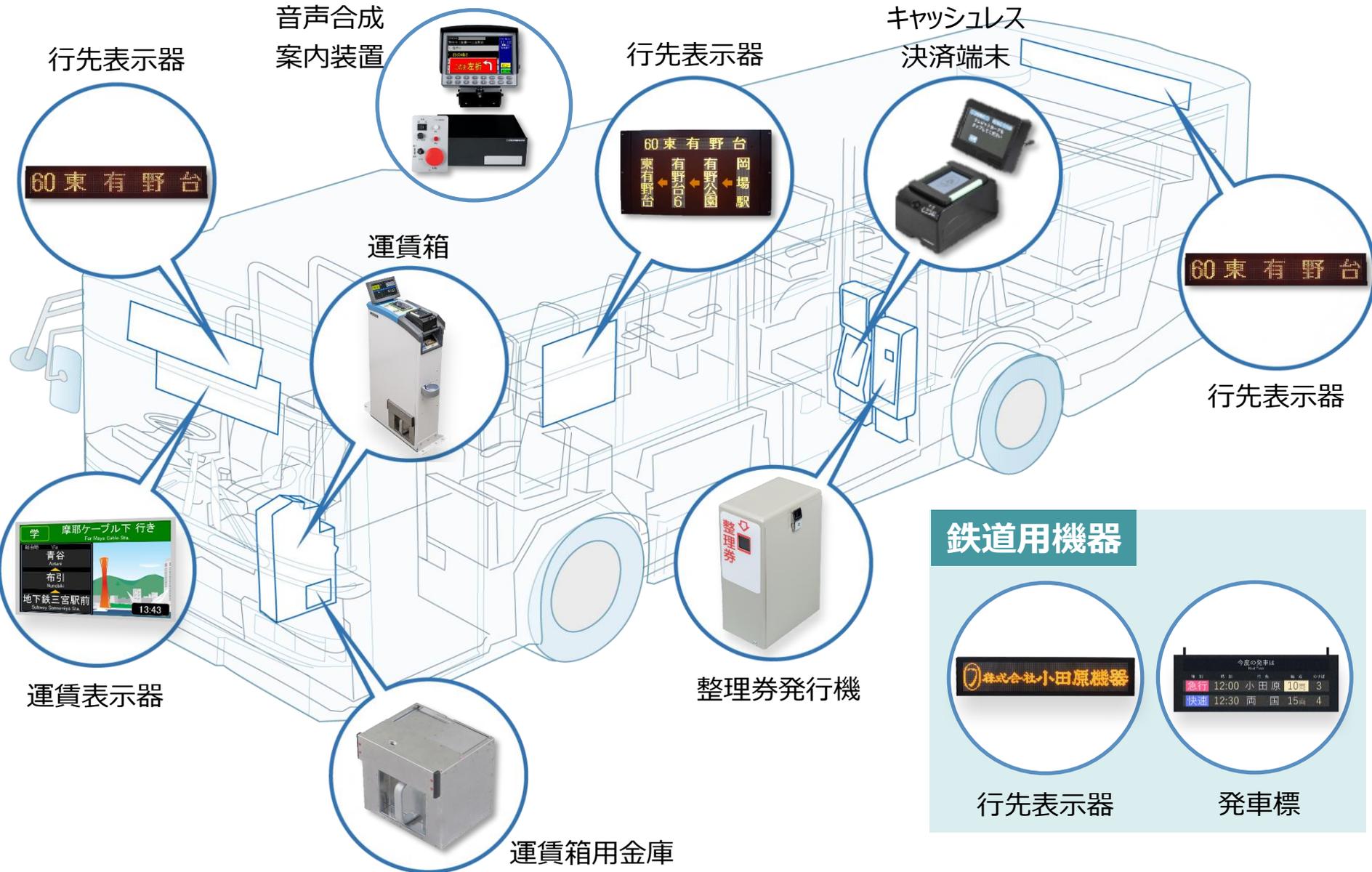
大幅なスリム化と決済  
手段の多様化を両立



幅16cm

**キャッシュレス型運賃箱  
「FCM」**

更なるコンパクト化と  
QR、クレカ決済にも対応



60 東 有 野 台

音声合成案内装置

行先表示器

キャッシュレス決済端末

運賃箱

60 東 有 野 台

行先表示器

学 摩耶ケーブル下 行き  
For Myo Gaku Sta.  
青谷  
布引  
地下鉄三宮駅前  
13:43

運賃表示器

整理券発行機

運賃箱用金庫

鉄道用機器

株式会社小田原機器

行先表示器

今度の列車は  
急行 12:00 小田原 10分 3  
快速 12:30 両国 15分 4

発車標

紹介ムービー

## ▶ キャッシュレス特化型運賃箱『FCM』がグッドデザイン賞を受賞

キャッシュレス決済など支払い手段の多様化と  
小型軽量化を実現した新型運賃箱『FCM』が  
2022年度グッドデザイン賞を受賞



GOOD DESIGN  
AWARD 2022

### 製品の特長

- ✓ 従来機から設置床面積15%、重量30%の小型軽量化を実現
- ✓ 一体感のあるデザインで、バス利用者のユーザビリティを向上
- ✓ 操作タッチパネルを10インチに大型化し、運転手の操作性を向上



# 多様なキャッシュレス手段の実現

## ▶ マルチ決済端末『BOSS』

### 利用可能ブランド例

- Suica
- PASMO
- ICOCA
- PiTaPa
- nimoca
- Kitaca
- TOICA
- SUGOCA
- manaca
- はやかけん
- 他

### 利用可能ブランド例

- PayPay
- Alipay
- Line Pay
- 楽天 Pay
- メルペイ
- d払い
- 他

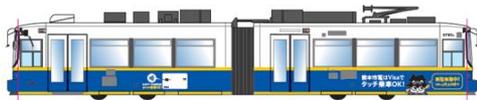


- ※ 利用可能ブランドはバス事業者様によって異なります。
- ※ 本資料に掲載されている商品またはサービスなどの名称は、各社の商標または登録商標です。

# 『BOSS』の導入事例（一部）



熊本市様



九州産交バス様



南国交通様



鹿児島市様



西表島交通様



長電バス様



神姫バス様



奈良交通様



富士急行様



北都交通様



茨城交通様



横浜市様



小田急電鉄様、  
小田急箱根ホールディングス様



※ 画像は各事業者様のHP及び当社プレスリリースより引用。また、今後導入予定を含む

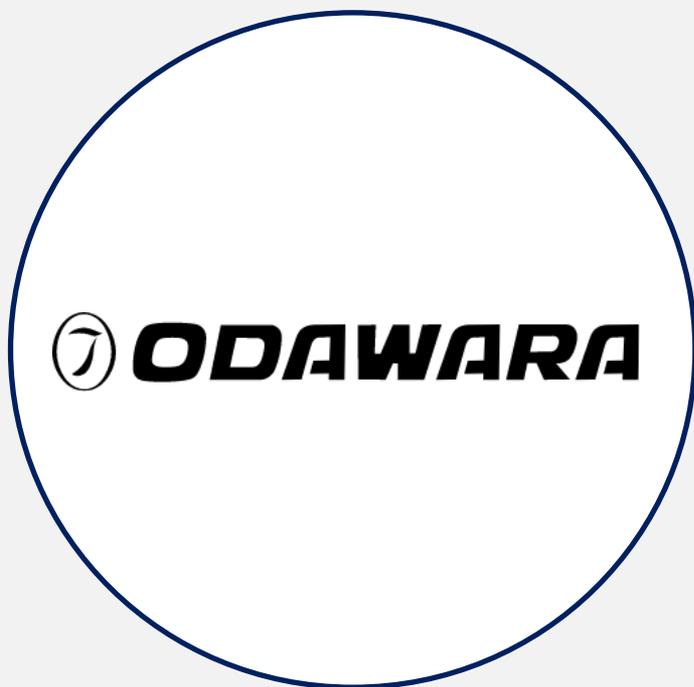
## 運賃収受・キャッシュレス決済



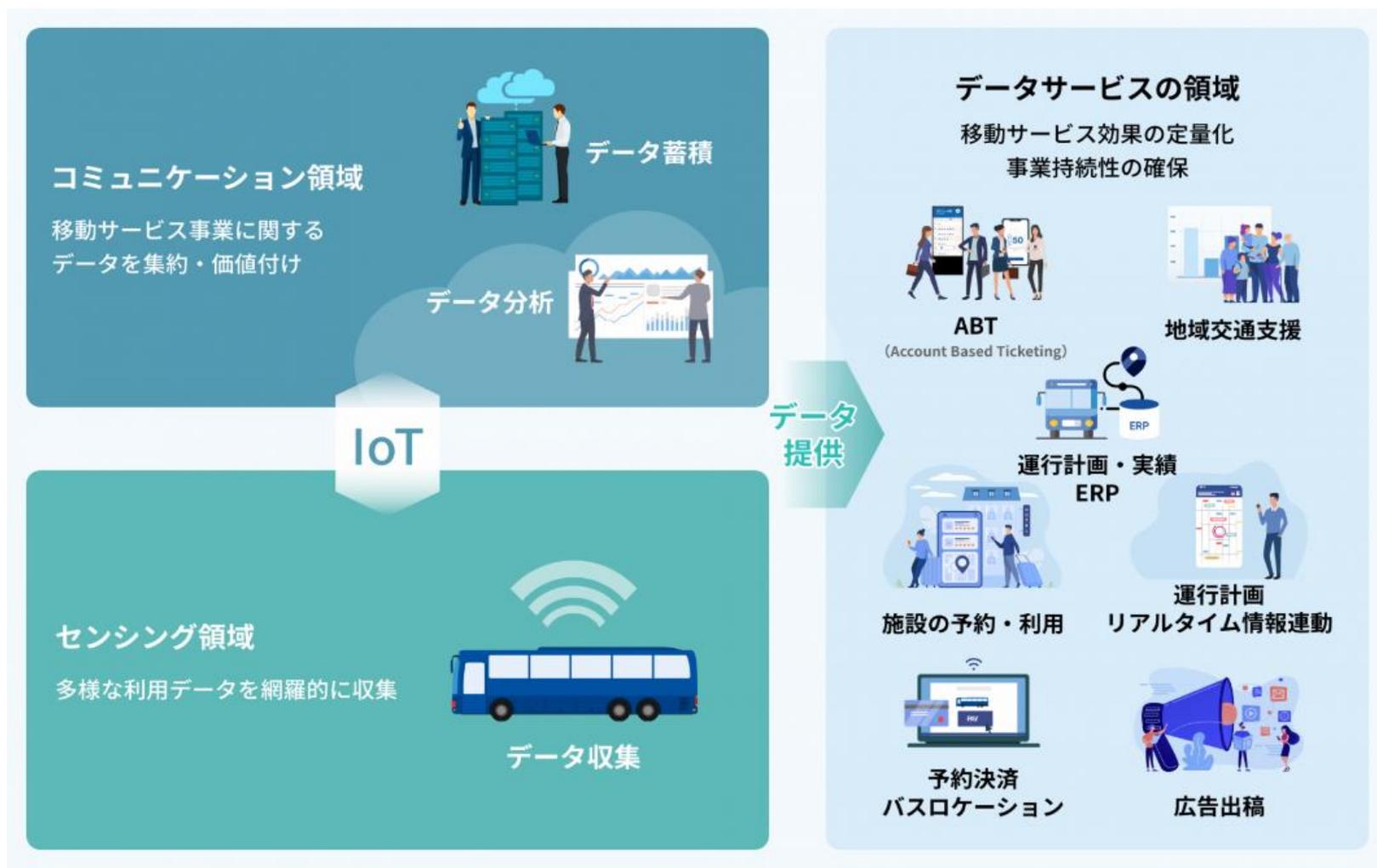
## 地域交通活性化コンサルティング



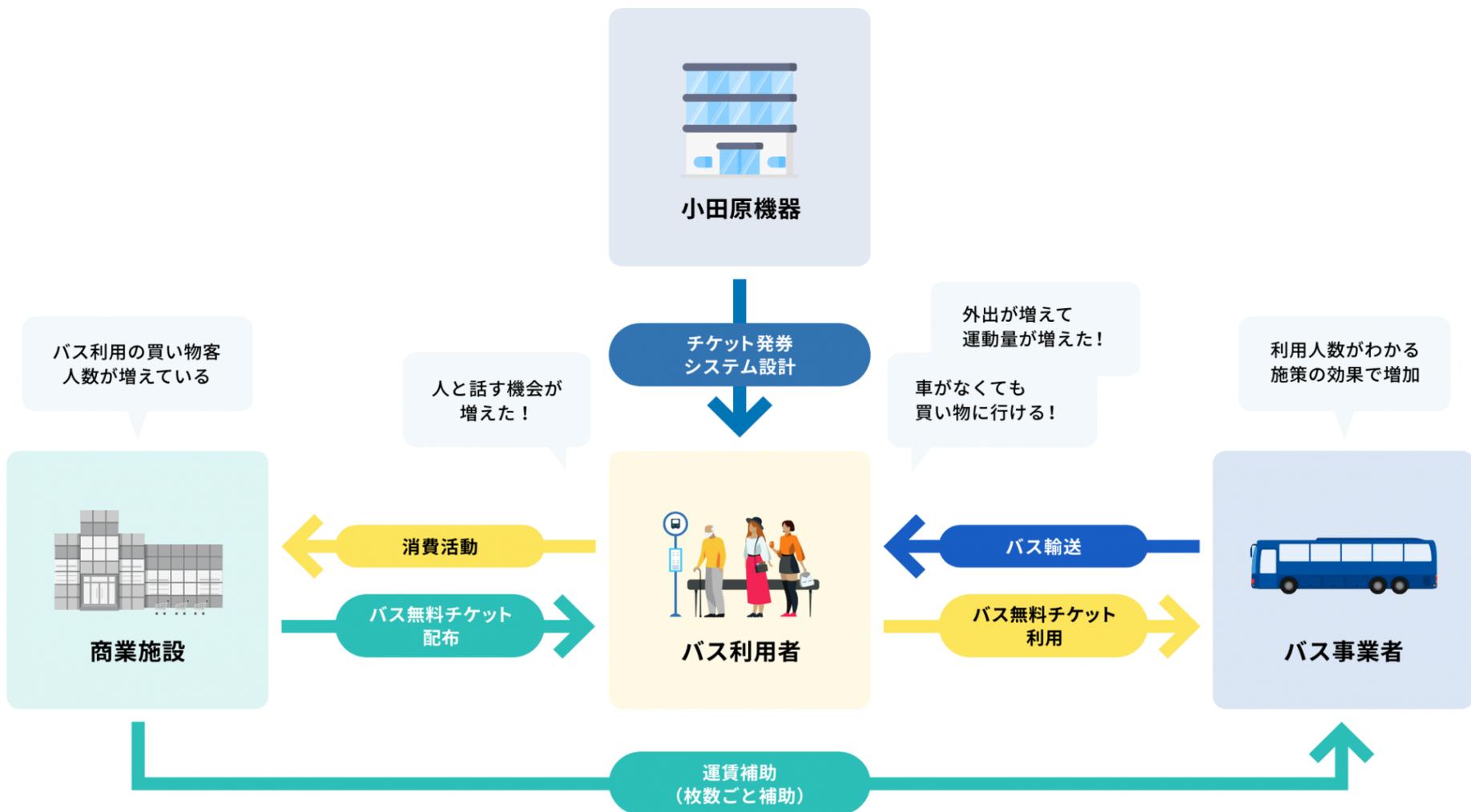
## 技術サービス



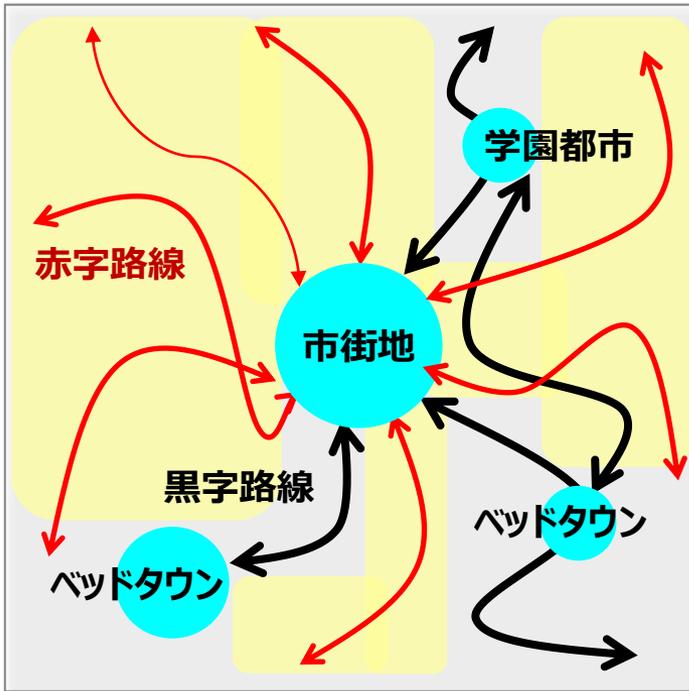
## ▶ 路線バスや鉄道の利用データを活用し、コンサルティングを実施



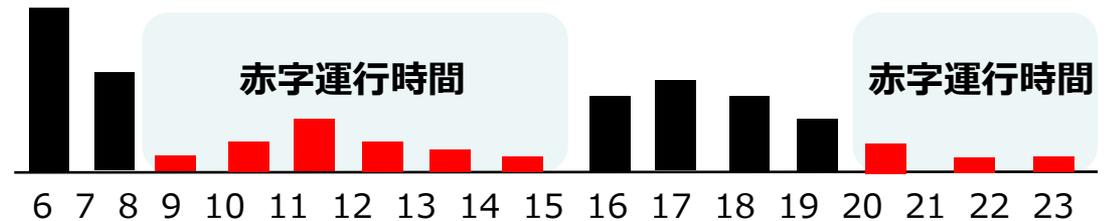
## ▶ MaaSを見据え、地域移動手段の維持・確保と利便性の向上



## ▶ 乗降データを収集・分析して価値あるデータを提供



- ▶ 路線バスは、域内移動に不可欠なインフラ。しかし、赤字路線・時間が多くバス事業者様の経営は厳しい。



- ▶ “公共交通サービス”と“バス事業者様の健全な経営”の両立が不可欠。
- ▶ 移動ニーズと運行コストの適正化を実現するための分析データを提供する。

乗降人数・利用区間・乗降時間  
スマホアプリ会員データ



- “時間帯”と“地域”の最適化
- “定期運行”と“オンデマンド”の組合せ
- 教育機関・ホテル・観光業者様にデータ提供



## ▶ 小田原市様と協定締結

「地域の移動手段の維持・確保」や「デジタル化による利便性の向上」を目的に、小田原市様と「交通政策の推進に関する協定」を2022年8月に締結

協業の第一弾として、「バスdeおでかけプロジェクト」に参画し、バス利用を促進することで道路混雑の緩和やCO2排出量の削減を図る



正面右から、小田原市長 守屋 輝彦様、小田原機器代表取締役 丸山 明義



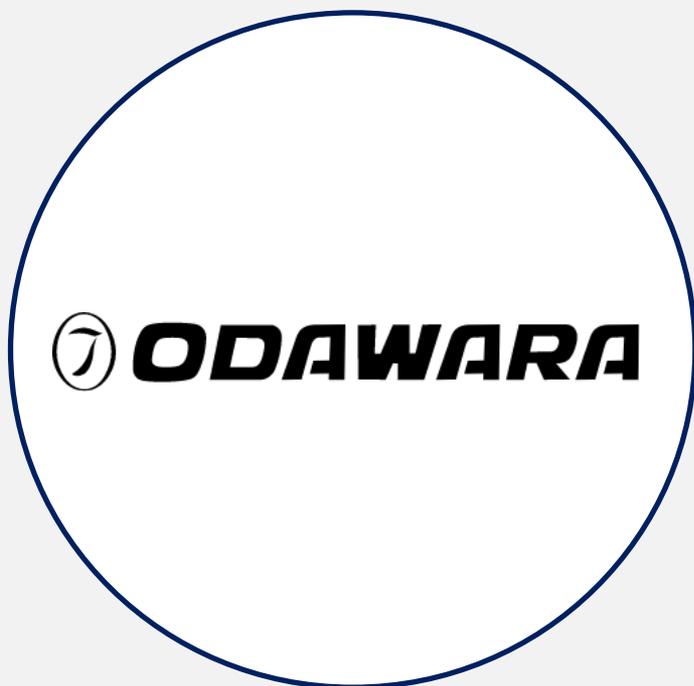
## 運賃収受・キャッシュレス決済



## 地域交通活性化コンサルティング



## 技術サービス



## ▶ 上流から下流まで、お客様の課題解決をワンストップでサポート

商品企画の段階から  
お客様の開発チームに参画

お客様独自製品の  
製造を受託

商品企画

開発方針

要件定義

開発

製造

保守

修理

コール  
センター

メカ、エレキ、ソフトウェア、  
プリント基板の開発を受託

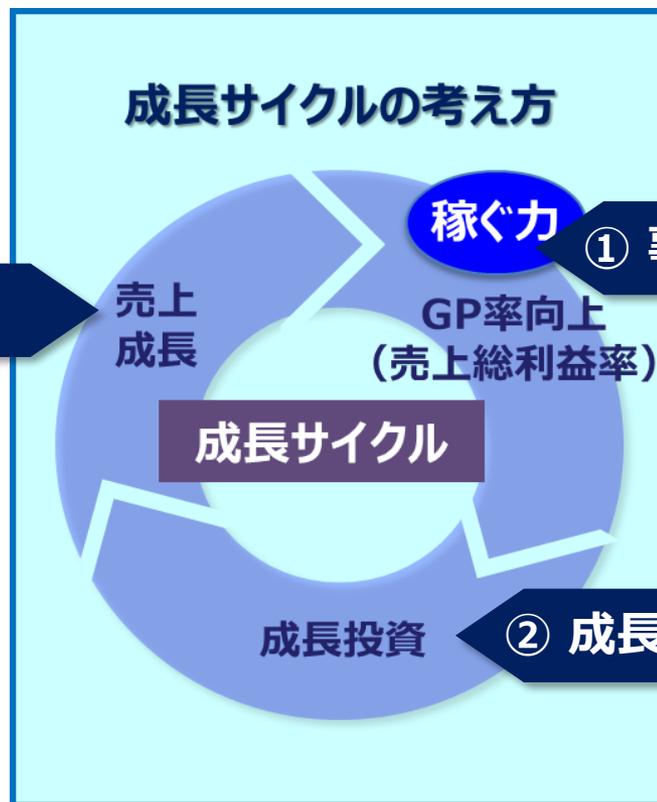
お客様独自製品の保守・修理を  
24時間365日体制で対応

1. 会社概要
2. 事業内容
3. 成長戦略
4. 資本政策

## ▶ 成長サイクルの循環により持続的成長を目指す

2025年度目標  
売上75億円 ROS10%

### 成長サイクルの考え方



### ③ 売上成長の加速

- 新紙幣特需の取り込み
- キャッシュレス商品を武器にシェア拡大
- 地域モビリティへの貢献

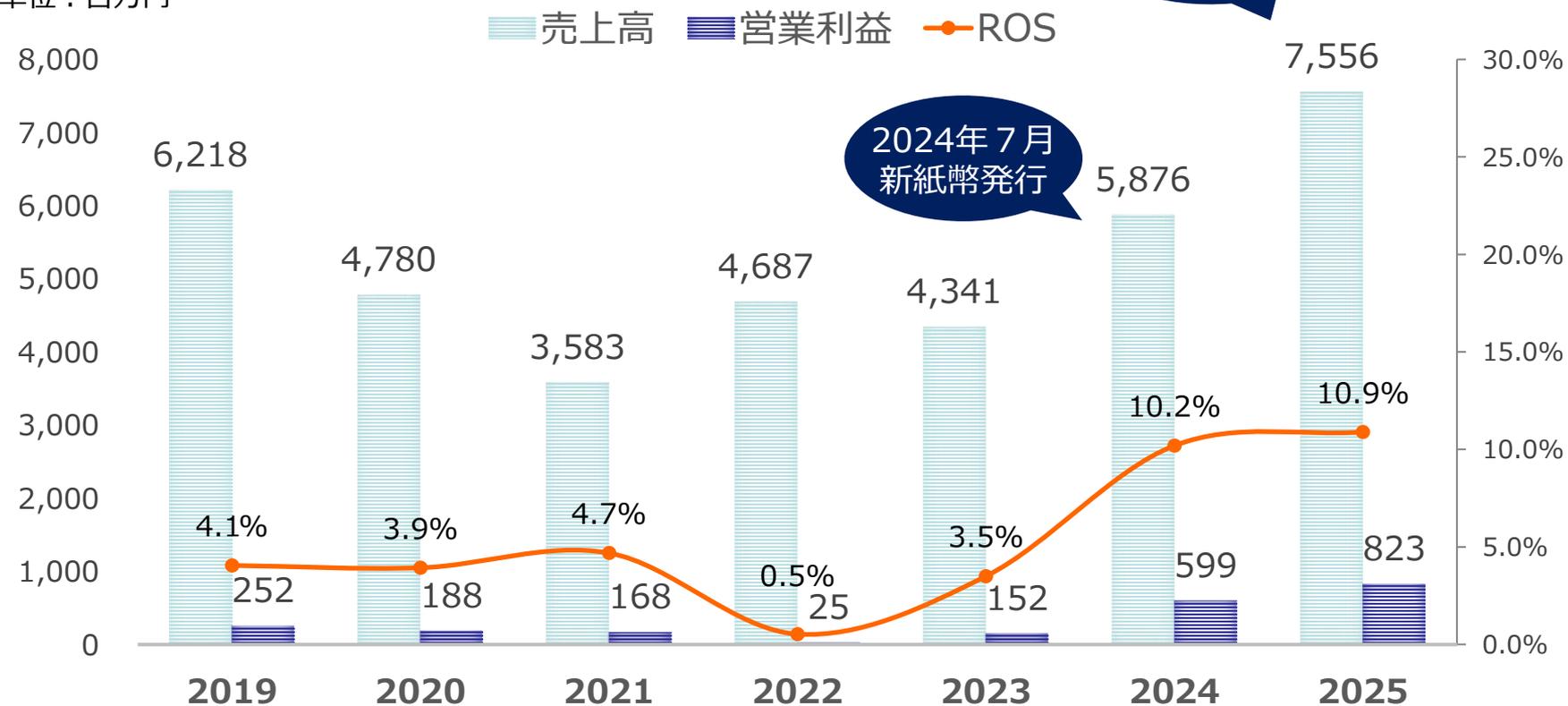
### ① 事業量変動に強い収益構造構築

- 設計、製造原価の低減
- 非効率な業務プロセスの刷新

### ② 成長を牽引するコアコンピタンス強化

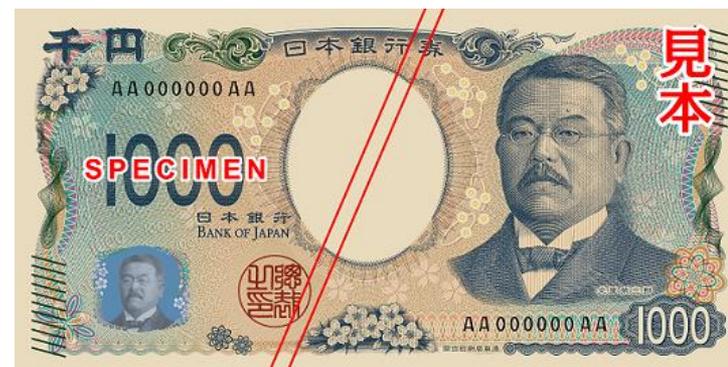
- キャッシュレス品揃え強化
- データサイエンス技術強化

単位：百万円

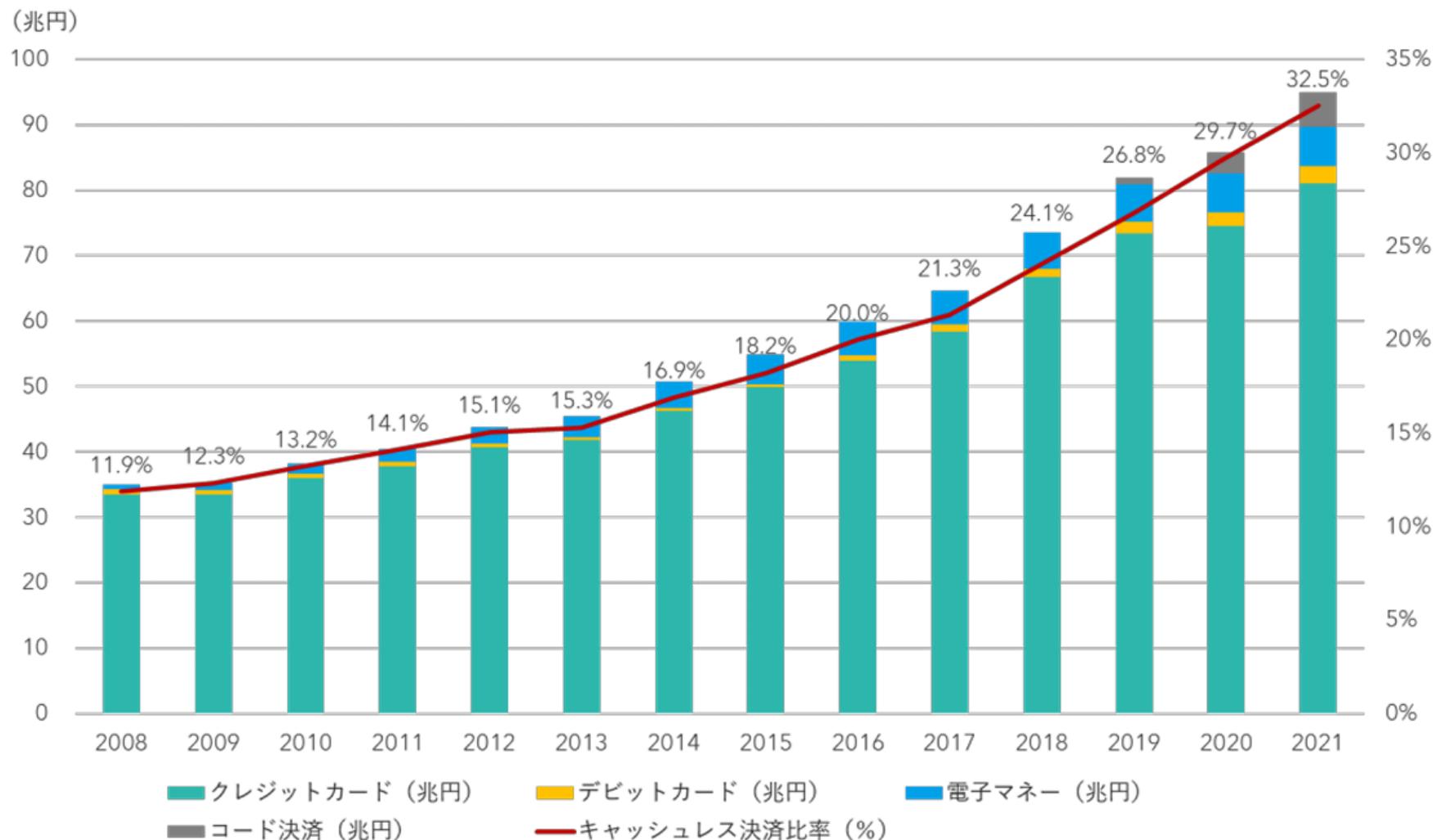


## ▶ 新紙幣対応を遂行し、売上成長を加速

2024年7月予定の新紙幣発行に向けて、  
当社の高度で複雑な紙幣処理技術を活用したコンポを事業者様へ提供予定。



## ▶ 国の政策やインバウンド需要によりキャッシュレスが急拡大



## ▶ キャッシュレスの拡大を追い風にシェア拡大

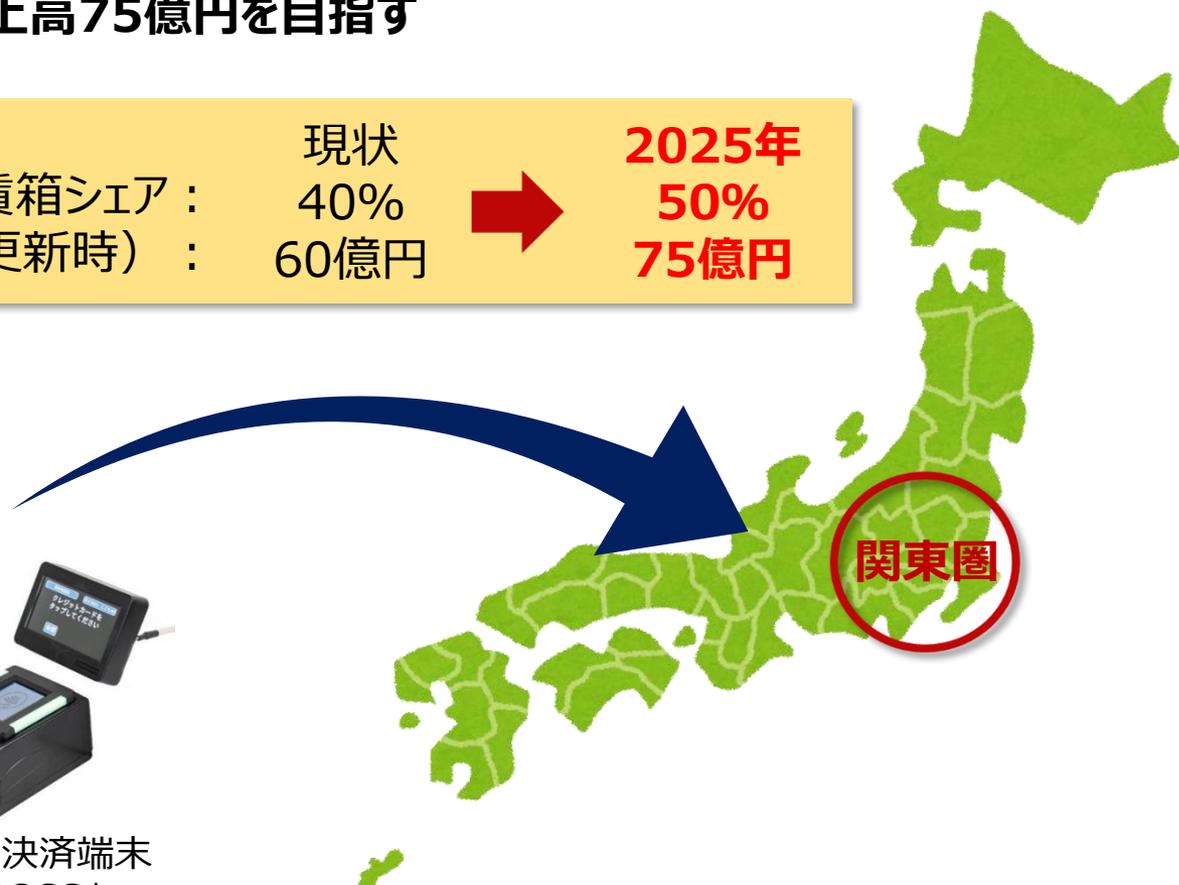
2025年頃に想定されている関東圏を中心とした大規模な機器更新需要を取り込みシェアを拡大し、中期経営計画の目標売上高75億円を目指す

|                  |      |       |
|------------------|------|-------|
|                  | 現状   | 2025年 |
| 運賃箱シェア :         | 40%  | 50%   |
| 売上高 (大規模機器更新時) : | 60億円 | 75億円  |

キャッシュレス特化型運賃箱  
「FCM」



マルチ決済端末  
「BOSS」



## ▶ 地域モビリティのプロデューサーへ進化



1. 会社概要
2. 事業内容
3. 成長戦略
4. 資本政策

# 株価の推移



# 上場維持基準の適合に向けて



## ▶ 中期経営計画の達成により上場維持基準クリアを図る

|                         | 株主数    | 流通株式数    | 流通株式<br>時価総額 | 流通株式<br>比率 |
|-------------------------|--------|----------|--------------|------------|
| 当社実績<br>(2022年12月31日現在) | 1,069人 | 14,324単位 | 724百万円       | 45.7%      |
| 東証スタンダード市場の<br>上場維持基準   | 400人   | 2,000単位  | 1,000百万円     | 25.0%      |
| 適合状況                    | ○      | ○        | ×            | ○          |

### 施策

#### 成長事業の 創出

- ▶ キャッシュレス決済事業の強化と加速
- ▶ データサービスの事業化

#### 継続的な成長 投資の実行

- ▶ 売上高総利益率の向上
- ▶ 技術ビジョンに基づくR&D投資の実行

### 改善期間

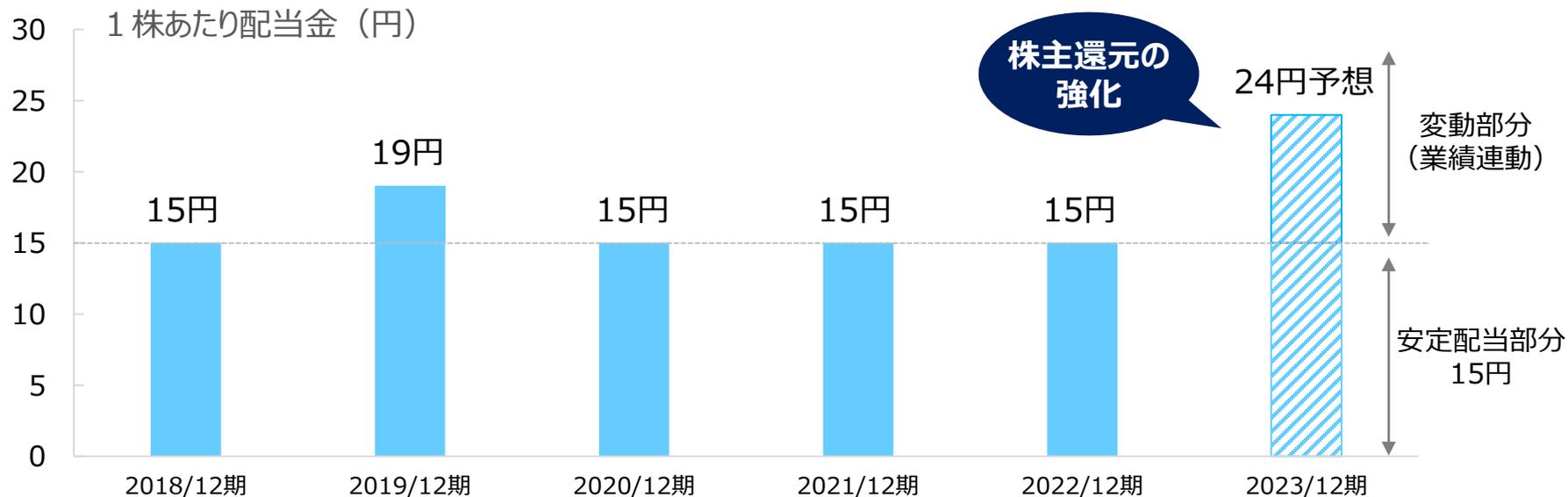
～2026年12月末

# 資本効率の向上



| KPI | ROE       | 2022年実績   | →             | 2025年目標          |
|-----|-----------|---|---------------|------------------|
|     | PBR       | ▲1.1%   |               | 8.3%             |
| 施策  | 当期純利益率の改善 | 2022年実績 : ▲0.9% ⇒   |               | 2025年目標 : 6.4%   |
|     |           | ▶ 仕様の標準化によるものづくり改革  |               |                  |
|     |           | ▶ 非効率な事業プロセスの刷新   |               |                  |
|     |           | ▶ 販管など、間接機能のグループ集約  |               |                  |
|     | 総資産回転率の改善 | 2022年実績 : 0.865回 ⇒  |               | 2025年目標 : 0.900回 |
|     |           | ▶ 変種変量生産体制の構築   |               |                  |
|     |           | ▶ リードタイムの短縮   |               |                  |
|     |           | ▶ 変動費の低減  |               |                  |
|     | 株主還元の強化   | ▶ 2023年12月期より、配当方針を変更   |               |                  |
|     |           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 配当性向30% (継続)</li> <li>・ 1株あたり15円 (継続)</li> <li>・ DOE2.0% (追加)</li> </ul> | } いずれか高い金額を配当 |                  |

# 配当実績と今後の方針



|      |      |       |       |       |      |           |
|------|------|-------|-------|-------|------|-----------|
| 配当性向 | -    | 30.1% | 35.1% | 46.8% | -    | 74.6%（予想） |
| DOE  | 1.0% | 1.7%  | 1.3%  | 1.2%  | 1.2% | 2.0%（予想）  |

## 〔配当方針〕

- 下記のうち、金額が大きい方
  - ・ **配当性向30%**
  - ・ **DOE2.0%（※）**
- ただし、業績にかかわらず**1株あたり15円の安定配当部分**を設定

## 〔1株あたり配当金〕

- 前期（2022/12期）：株主様に対する安定配当として、1株あたり15円を配当
- 当期（2023/12期）：配当方針に基づき、DOE2.0%として1株あたり**24円**の配当予想

※ 2023年8月10日に配当方針を変更し、DOEに関する基準を新設

## ▶ 2023年12月期より株主優待制度を新設

### ■ 対象となる株主様

毎年12月末日現在の当社株主名簿に記載又は記録された当社株式100株（1単元）以上を保有されている株主様

### ■ 株主優待の内容

| ご所有株式数    | ご優待内容             |
|-----------|-------------------|
| 100株～499株 | 2,000円相当のQ U Oカード |
| 500株以上    | 3,000円相当のQ U Oカード |

### ■ 贈呈の時期

毎年3月下旬にお送りする「定時株主総会決議ご通知」とともに発送

### ■ 株主優待制度の開始時期

2023年12月31日現在の当社株主名簿に記載又は記録された株主様を対象に開始

# 本日のまとめ

## 事業内容

- ▶ 運賃収受・キャッシュレス決済
- ▶ 地域交通活性化コンサルティング
- ▶ 技術サービス

## 成長戦略

- ▶ 成長サイクルの循環により持続的成長を目指す
- ▶ ①新紙幣特需の取り込み、②シェア拡大  
③地域モビリティのプロデューサーへ進化により売上成長を加速



## 資本政策

- ▶ 2023/12期は1株あたり24円の配当予想
- ▶ 2023/12期より株主優待制度を新設し、対象の株主様にQUOカードを贈呈

<https://www.odawarakiki.com/ir/>



[サイトマップ](#)
[文字サイズ](#)
中
大

[採用情報](#)

[ホーム](#)
[会社情報](#)
[企業理念](#)
[ソリューション・製品](#)
[IR・投資家情報](#)
[お問い合わせ](#)

## 株主・投資家の皆様へ

---

小田原機器グループは、社是「開拓の精神で社会に奉仕する」のもと、全ての人々にとってストレスフリーな公共交通社会の実現を目指し、企業価値の向上に努めています。

また、2020年1月からスタートし4年目を迎える中期経営計画「リバイバルプラン2025」のもと、お客様の経営課題を解決するソリューションの提供に取り組んでいます。

例えば、キャッシュレス決済ニーズの拡大を取り込み、2022年度グッドデザイン賞を受賞した新型運賃箱「FCM」やICカード、QRコード、クレジットカードタッチ決済が可能なマルチ決済端末「BOSS」を開発し、市場に投入いたしました。加えて、「地域の移動手段の維持・確保」や「デジタル化による利便性の向上」を目的に、小田原市様と「交通政策の推進に関する協定」を締結いたしました。



今後は、「リバイバルプラン2025」以降を見据えて、社長直轄の『新規事業推進室』を立ち上げ、地域の公共交通の課

IR・投資家情報

- ▶ 株主・投資家の皆様へ
- ▶ IRカレンダー
- ▶ 財務ハイライト
  - ▶ 業績ハイライト (連結)
  - ▶ 財政状況 (連結)
  - ▶ キャッシュ・フローの状況 (連結)
- ▶ 株式情報
  - ▶ 銘柄基本情報
  - ▶ 株価情報 (Yahoo! ファイナンス)
  - ▶ 株主総会
  - ▶ 配当状況
- ▶ IRライブラリー
  - ▶ 決算短信
  - ▶ 決算説明会資料

# IR

## IR・投資家情報

[サイトマップ](#)
[文字サイズ](#)
中
大

[採用情報](#)

[企業理念](#)
[ソリューション・製品](#)
[IR・投資家情報](#)
[お問い合わせ](#)

ホーム ▶ IR・投資家情報

### 直近のIRイベント

IRカレンダー →

|            |                       |  |
|------------|-----------------------|--|
|            |                       |  |
| 2023年8月10日 | 2023年12月期 第2四半期決算発表予定 |  |
| 2023年5月12日 | 2023年12月期 第1四半期決算発表   |  |

[株価情報](#)

本資料は、当社（株式会社小田原機器）の現状をご理解いただくものとして、当社が作成したものであります。

本資料に記載された情報及び将来の見通しは、資料作成時点において入手可能な情報及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成しております。

今後、様々な要因により実際の業績及び結果等と異なる可能性があります。

投資に関するご決定をされる際は、投資家の皆様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

お問い合わせ先：

株式会社小田原機器

管理部 グループ経営企画室

TEL：0465-23-0121

FAX：0465-23-1288

HP：<https://www.odawarakiki.com>



# 個人投資家様向け 会社説明会

---

2023年10月11日

株式会社小田原機器（東証スタンダード 7314）  
代表取締役社長 丸山明義